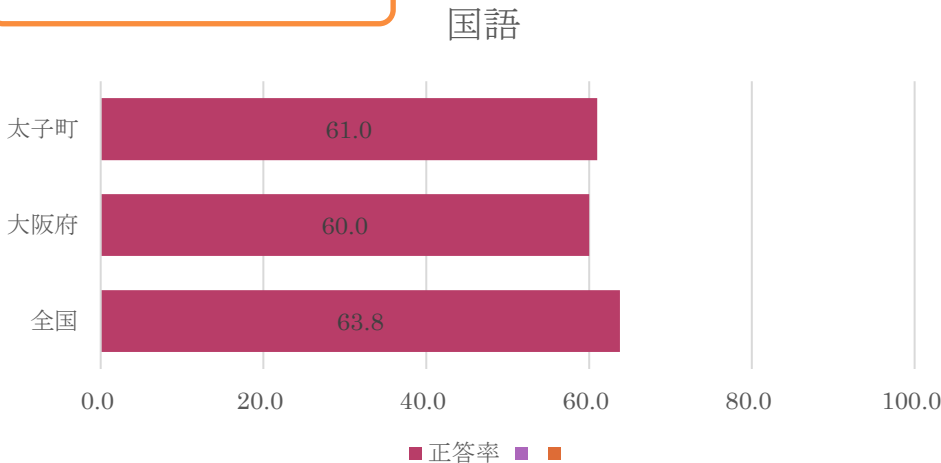


# 平成31年度 全国学力・学習状況調査 小学校国語

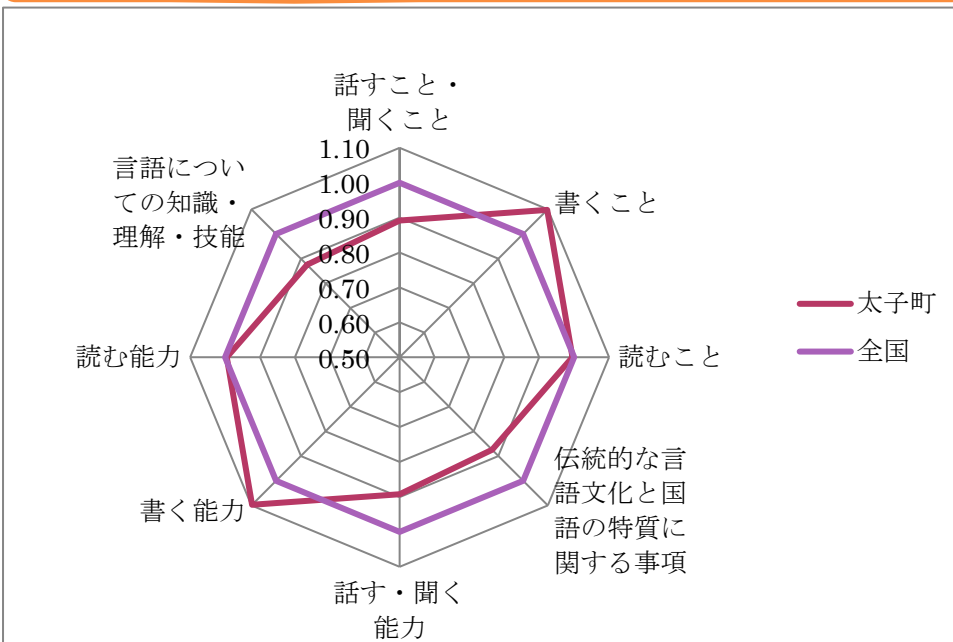
## 正答率比較



全国の平均正答率が63.8%であるのに対し、太子町の平均正答率は61.0%であり、-2.8ポイントという結果であった。



## 全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較

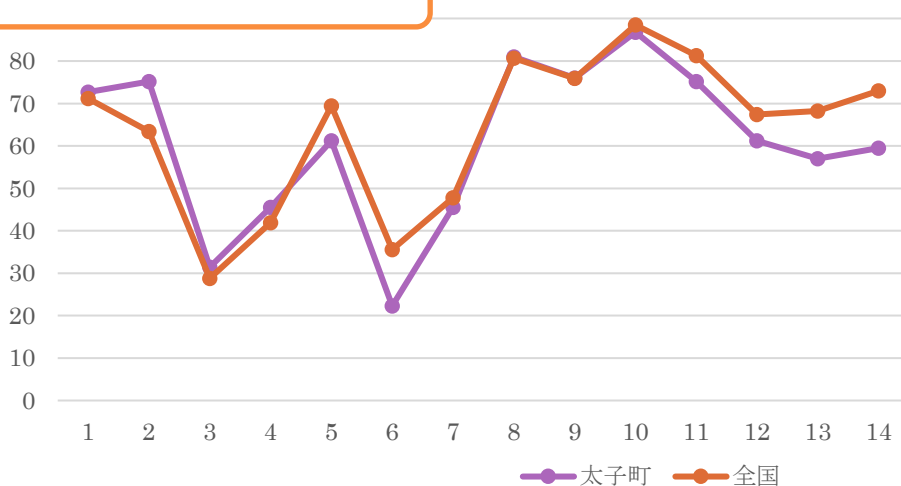


全国平均と比べ、全体的に課題が見られる。

前年度より力を入れて取り組んできた「書くこと」「書く能力」に一定の改善が見られた。一方で、「話すこと・聞くこと」を高めることが求められる。また、「言葉等の知識・理解」についても課題が見られた。

## 成果と課題

## 問題別正答率 (%)



正答率の傾向は、全国と同様である。

ただ、「目的や意図に応じて、自分の考えを明確にし、まとめて書く」といった条件を定められた問題での正答率が低い(31.4%)。

また、最後の2問での無解答率が他と比べ高く、解答時間に余裕がなかったことがアンケートからもわかる。基礎基本の習熟も含め、府教材「ことばの力」の活用など、学校全体での取り組みが必要である。

